

～ホタテガイの国内加工能力向上及び高付加価値化～ 株式会社サイトウフーズ（青森県八戸市）

背景・課題

自社の主力水産物であったイカが近年の不漁により、原料調達が困難になっている。
また北海道で水揚げされるホタテガイは、人手不足等の影響により、盛漁期には殻剥きや袋詰め等の人員を確保できず、安値での取引を余儀なくされており、国内加工による高付加価値化が望まれている。

取組のポイント

- ・ X線検査機及び多段階選別機を導入し、八戸でもホタテガイ貝柱加工が可能な生産体制を構築。
- ・ オホーツク地域で水揚げされるホタテガイを原貝のまま函館の水産加工業者へ輸送。殻剥きを実施後八戸の自社に輸送し袋詰め等の貝柱加工を実施。
- ・ 販売先の要望に対応できるよう、従来の1kg袋詰めに加え、小袋サイズの加工も可能な生産体制を整備。

取組の成果

異物混入等のクレームもなく高評価で、令和3年度の目標は概ね達成。
袋詰め商品のみならずバルクでの注文も増加し、販売量拡大。
人手不足に悩むホタテガイ生産者の加工負担を軽減するとともに所得向上に寄与。
新たなモデルケースとして同業他社からも注目。
量販店等に販売ルートを有している商社等へアプローチし、新規販路拡大。

プロジェクトフロー

ホタテガイ生産者

人手不足が深刻で、盛漁期には殻剥きや袋詰め等に人員を割けない高値で販売を行うには商品の高付加価値化が必要

株式会社サイトウフーズ

主力水産物であるイカが不漁のため、新たな加工原料への転換が必要

人員に余裕のある函館や八戸でホタテガイ貝柱加工を分業原貝での販売ではなく、貝柱商品を製造することで高付加価値化

オホーツク地域の作業負担軽減
余剰人員が発生していた函館の水産加工業者の工場稼働率向上

工場稼働率の向上
新たなモデルケースとして確立

X線検査機



多段階選別機



袋詰め作業

